

# 令和5年度事業報告書

## I 事業概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類へと引き下げられるなど、コロナ禍での自粛生活も新たな段階に移動しました。行動制限も緩和され社会経済活動も徐々に回復基調となりました。

このような中、65歳までの定年延長や70歳までの就業機会の確保が企業努力義務となった法制度導入や高齢者の就業ニーズの多様化等により60歳代の入会者が減少し、会員の年齢層の上昇や新規会員の減少等シルバー事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。一方、少子高齢化による労働力人口が減少傾向にあるため、働く意欲がある高齢者が就業しやすい環境を整え、年齢にかかわらず働けるシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

令和5年度当センターの会員数は、全国的に会員の減少が続く中で、前年度比入会者7人増の85人、退会者21人減の68人で合計17人増の521人となりました。

受託事業においては契約金額225,243,386円で前年同期比1,134万円増となり、うち公共関係は782万円の増、民間関係が69万円の増、家庭が283万円の増になりました。また、労働者派遣事業においては、2,030万円の増となりました。

女性会員の増員を図るため研修会等を開催し、情報共有及び連携強化を図りました。また、県費の高齢者就業拡大支援事業のマッチング支援員によって、働く意欲を有した新規会員の見つけ出しや就業開拓等も図りました。

以上のように会員の方々のご尽力によるセンター事業の推進と地域社会に貢献するための事業運営が図られました。

シルバー事業に向けられる期待と重要性はより一層大きなものとなっていることからシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」を推進するとともに、今後ますます進展する高齢化社会に対応するため、会員・役職員一丸となって更なる会員拡大、就業機会の拡大と適正就業・安全就業の徹底に努めてまいります。

### 事業実施報告について

#### 会員の状況

会員数は、前年度末504名より17名3.4%の増加となりました。

会員数 521名 (男性349名、女性172名)

前年度比17名増加 (男性11名増加、女性6名増加)

## 事業実績

受託事業契約金額	225,243,386 円	(前年度比 105.3%)
(うち公共)	72,536,367 円	(前年度比 112.1%)
(うち企業)	78,924,556 円	(前年度比 100.9%)
(うち家庭)	73,782,463 円	(前年度比 104.0%)
労働者派遣事業	43,782,575 円	(前年度比 185.1%)
(労働者派遣事業受取手数料収益		4,386,367 円)

## II 事業報告

### 1 就業開拓提供事業

#### (1) 受託事業

高齢者が培ってきた知識、経験、技能を生かし活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として、公共機関、民間事業所および個人家庭への訪問を行い、新規就業開拓を実施しました。また、センター事業の周知と理解を得ながら受託事業の拡大推進を図りました。

受注件数 5,423 件 就業実人員 446 人 就業率 85.6% 延人員 45,037 人日  
契約金額 225,243,386 円

#### (2) 独自事業 (受託事業のうち)

新たな独自事業への取り組みを検討しました。

#### (3) 職業紹介事業

臨時的かつ短期的または軽易な業務で、請負・委任になじまない雇用就業を希望する高年齢者のための、有料の職業紹介事業は実績がありませんでした。

#### (4) 労働者派遣事業

臨時的かつ短期的または軽易な業務で、請負・委任になじまない労働者派遣。行動制限の緩和等により、管理関係及び観光関係また、飲食店関係の契約が大きく飛躍する実績となりました。

#### 事業の実績

件数 31 件 延人員 7,448 人日 金額 43,782,575 円

### 2 入会促進、相談事業

(1) 毎月「市政だより」に入会説明会の予定を掲載し、広く市民への入会案内を行いました。4月から3月の第2金曜日と第4金曜日に事業委員会と総務委員会の委員が交代でセンターの業務や仕組みについての説明を行いました。

(2) 入会説明会を受けられて未入会の方へマッチング支援員が訪問し、話を聞きながら入会を促しました。

(3) 毎月1回開会されるハローワーク主催の「シニア就職応援セミナー」の参加者へ、センターの仕組み等を説明しました。

それらの結果、令和5年度の入会者85名(男性51名女性34名)、退会者68名(男性40名女性28名)となり令和4年度末より17名多い521名となりました。今後も、未就業の会員の方との相談を増やし就業率を高め、退会の抑制に努めます。

### 3 安全・適正就業事業推進事業

(1) 会員の安全就業、健康の維持増進はセンター事業のすべてに優先することを認識自覚して無災害・無事故を目指し取り組みました。また、会員の就業中の事故及び就業途上の交通事故の防止安全意識の向上、健康管理の推進に向けた方策を実施しました。結果として損害事故については、前年度を下回りました。

#### ①安全・適正就業対策委員会の開催

安全・適正就業対策委員と地区安全対策員との合同会議を3回(7月、12月、3月)開催しました。

#### ②安全パトロールの実施

事故の撲滅を目指し安全就業巡回指導を7月から9月15件、10月から12月に10件実施し、安全防護具の着用、器具等の安全使用の指導をしました。おおむね適正に作業が実施されていましたが、問題点等がある場合は現場において指摘しました。また、口頭により会員の安全に対する意識の高揚と啓発活動に努めました。

#### ③講習会及び安全大会

##### ○講習会

##### 安全講習会

日時 令和6年3月6日

場所 会津若松市文化センター展示室兼会議室

##### 第1部

内容 「わが家の防災対策」

講師 会津若松市危機管理課

##### 第2部

内容 「冬にできる室内健康体操」

講師 健康運動指導士 目黒 史江 氏

参加者 34名

### 安全講習会（交通安全）

日時 令和6年3月7日  
場所 会津若松市文化センター展示室兼会議室  
内容 「交通安全」について  
講師 会津若松署交通第一課  
参加者 40名

### ○安全大会

公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会に参加しました。

日時 令和5年7月25日  
場所 福島テルサ  
講演 「刈払機の安全な取扱い」  
講師 林業・木材製造業労働災害防止協会 福島県支部-  
事務局次長 鈴木 比良 氏

参加者 10名

### ④事故発生状況

傷害事故発生件数	4件（入院0件 通院4件）
損害事故発生件数	6件（物損6件）
労災事故件数	2件

### （2）適正就業の推進

臨時的かつ短期的又は軽易な業務に係るものであっても請負・委任になじまない仕事については、労働者派遣事業及び職業紹介事業を積極的に推進することとして関係する法令及び適正就業ガイドライン等を遵守し、適正な形態で就業できる体制整備の推進に取り組みました。

### 4 普及啓発の促進

就業ニーズの対応や就業を通しての生きがい対策の推進を図るため10月の普及啓発促進月間時にリーフレット900枚を役職員で配布し、PR活動の推進を図り、会員役職員のロコミ運動に努めました。役職員による事業所訪問のほかマッチング支援員による事業所訪問も行い、普及啓発に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため啓発活動に制約がありました。

センターの会報「はつらつ」を年2回発行し、宣伝広報に努めるとともに地域社会に根ざしたセンターを目指しました。また、ホームページを利用し、各種事業活動状況、会員説明会の日程等を紹介しました。さらに「自主・自立、共働・共助」の精神を高めることを目的として、ボランティア活動を計画しましたが、

新型コロナウイルス感染拡大への不安が消えないことから残念ながら、中止せざるを得ない状況のところもありました。

#### ボランティア活動の状況

地区	実施月	内 容	参加人数
全体	10月	鶴ヶ城清掃	40名
	4月	鶴ヶ城クリーン作戦	25名
1地区	4月	石部桜周辺除草作業	20名
	8月	飯盛山周辺清掃、除草作業	11名
2地区	8月	鶴ヶ城公園内テニスコート周辺清掃	11名
3地区	6月	会津若松駅前公園清掃	中止
4地区	6月	社会福祉法人 会津みどりホーム 除草	5名
	7月	諏方神社境内清掃	10名
5地区	7月	西若松駅周辺清掃	中止
6地区	9月	小田山忠霊堂清掃	12名
7地区	10月	明精会 介護老人保健施設「美野里」除草、清掃	11名
8地区	10月	「広田保育所」除草、剪定	中止
緑化部	4月	西若松駅東口ロータリー竹垣設置	20名

#### 5 調査研究

全シ協・県連合会及び関係機関等の各種研修会・講習会に参加し、高齢者の就業に関する情報の収集交換をするなどセンターの円滑な事業運営に努めました。また、他センターの先進事例等をホームページや会報により情報収集を行うなど意識を高めました。新型コロナウイルス感染拡大への不安が消えないことから会議等はオンライン会議となり、先進地視察等は中止となりました。

#### 6 訓練研修の実施

多様化する地域社会の要望に応えるため、また会員が永年培ってきた知識や能力を更にスキルアップするためにセンター主催の講習会及び福島県シルバー人材センター連合会が主催する高齢者活躍人材育成事業に参加し、技術向上及び入会促進を図りました。また、当センターの役員及び事務局職員の資質向上を図るため、効果的な研修へオンラインでの参加をしました。研修会等を通じて女性会員同士の情報共有及び連携強化を図りました。

### III 法人管理事業

#### 1 会員の状況

令和5年度末会員数521名

2 会議の開催

(1) 定時総会 1回

(2) 理事会 6回

(3) その他の会議

① 各委員会（総務、事業、女性、広報）

② 地区長・班長会議 2回